

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日  
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	地島～神湊	機構改革で離島航路担当部署と観光担当部署が組織統合されたことにより、これまで以上に連携して島内でのイベントに関する情報発信を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、前年度に引き続き、観光イベントは全て中止となった。昨年度に今後の改善点として挙げた「感染症対策のPRとセットにした来島・観光案内」に関しては具体的に取組めていない。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、創設された国補助を積極的に活用して船内に新たな設備(空気循環式紫外線洗浄機)を導入するとともに、消毒の徹底など公共交通機関として適切かつ迅速な対応を行った。	B	B	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを徹底する。 島民はもちろん、島外からの来訪者が安心して渡船を利用できるように、感染症対策の実施状況と併せて観光PRをはじめとした来島促進事業を観光担当部署とこれまで以上に連携して実施する。	新型コロナウイルス感染が拡大する中で、適切かつ迅速な感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 また、離島航路担当部署と観光担当部署が組織統合されたことから、新型コロナウイルス収束後の利用増進に向けた観光PR等の協力した取組みの実施を期待します。	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	大島～神湊～地島	機構改革で離島航路担当部署と観光担当部署が組織統合されたことにより、これまで以上に連携して島内でのイベントに関する情報発信を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、前年度に引き続き、観光イベントはほぼ中止(一部イベントは事業内容を見直し、縮小して実施)となった。昨年度に今後の改善点として挙げた「感染症対策のPRとセットにした来島・観光案内」に関しては具体的に取組めていない。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、創設された国補助を積極的に活用して船内に新たな設備(空気循環式紫外線洗浄機)を導入するとともに、消毒の徹底など公共交通機関として適切かつ迅速な対応を行った。	B	B	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを徹底する。 島民はもちろん、島外からの来訪者が安心して渡船を利用できるように、感染症対策の実施状況と併せて観光PRをはじめとした来島促進事業を観光担当部署とこれまで以上に連携して実施する。		

<p>福岡県新宮町離島航路確保維持協議会</p>	<p>新宮町</p>	<p>相島～新宮</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防のために、消毒液の設置・マスク着用の励行・乗船前検温・船内消毒・座席間隔の確保等を行いながら、運航を継続した。 また、令和3年7月から電子マネーカード決済を導入し、感染予防対策の強化及び利便性の向上を図った。 さらに、主船入渠時の代船として、荒天時の就航率が高い「Vアイランド」を新たに追加した。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う情勢を観察しながら、必要な感染予防策を講じ、運航を継続する。 渡船利用者の動向を踏まえ、外国人利用客向けの多言語表示や音声案内を行い、利便性の向上を図る。 また、新宮町おもてなし協会(観光協会)等と連携し、船舶に関する土産品の開発等を検討する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染が拡大する中、適切な感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 また、主船しんぐう入渠時の代船変更に伴う用船料の減等、経費削減を行っている点も評価できます。 今後も感染症対策を実施しながら、観光地である相島の観光客誘致等の取組に期待したいと思います。</p>	
<p>福岡県福岡市離島航路確保維持協議会</p>	<p>福岡県福岡市</p>	<p>玄界島～博多</p>	<p>島民が安心して乗船できるよう、待合所、船内容室における新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行った。 情報発信に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による島からの渡島自粛要請が出ていたため、積極的に行っていない。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>島民が安心して乗船できるよう引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、感染症の状況を踏まえながら、適切な時期を踏まえて、SNS等を活用した情報発信をし、島民以外の利用者拡大に努めていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染対策を行いながら離島航路運営を維持していること自体評価できます。 今後も感染症対策を行いながら、SNSでの情報発信や利用者の利便増進等の取組に期待します。</p>	
<p>福岡県福岡市離島航路確保維持協議会</p>	<p>福岡県福岡市</p>	<p>小呂島～姪浜</p>	<p>島民が安心して乗船できるよう、待合所、船内容室における新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行った。 情報発信に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による島からの渡島自粛要請が出ていたため、積極的に行っていない。 なお、欠航情報の迅速な周知については、方策を検討し、新船建造についても協議を進めている。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>島民が安心して乗船できるよう引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、感染症の状況を踏まえながら、適切な時期を踏まえて、SNS等を活用した情報発信をし、島民以外の利用者拡大に努めていく。 欠航率の改善については、時化に強い省エネ船舶の建造を目指していく。 高齢者にもわかりやすい欠航情報の発信の方策を検討していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染対策を行いながら離島航路運営を維持していること自体評価できます。 また、時化等へ対応する省エネ型代替船舶の建造が検討されているが、欠航状況の把握を行う等、引き続き航路改善に向けた方策の検討に期待します。</p>	
<p>福岡県糸島市離島航路確保維持協議会</p>	<p>糸島市</p>	<p>姫島～岐志間(本土)を運航</p>	<p>引き続き、糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。 また、継続して、市観光部門が作成した「ひめしまップ」を船内や岐志観光休憩所に配架、また市観光協会に配布し、島の魅力をアピールすることで、観光客等の利用増進に努めた。 ただ、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言等に伴う、来島・乗船自粛要請により、積極的な利用者の増進を図ることができなかった。</p>	<p>A</p>	<p>C</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、引き続き、感染予防対策を徹底・継続する。 また、観光パンフレット「ひめしまップ」の配布やホームページ、フェイスブックなどによる情報発信を行い、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用等島外利用者の拡大に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染対策を行いながら離島航路運営を維持していること自体評価できます。新型コロナウイルス収束後の利用増進に向け、観光パンフレットやホームページ等を用いた観光客誘致の取組みに期待します。</p>	

<p>福岡県北九州市 離島航路確保維持協議会</p>	<p>北九州市</p>	<p>藍島～小倉</p>	<p>①ダイヤ改正 新たなニーズを探りつつも、改正後のダイヤも十分に浸透した。 ②運賃改定 ホームページで運賃改定について周知した。 ③経費縮減 船員で対応可能な小修繕を行い、停泊時のアイドリングストップや入札による燃料費縮減に努めた。 ④離島活性化 「藍島プロジェクト」を始め、関係局の垣根を越えて様々な意見交換を行い、トイレ・待合所改修などの島の魅力向上に反映させた。 ⑤増客対策 待合所とその周辺環境整備を行い、ペアチケットやファミリーチケットを活用し、島外からの集客を図った。 また、藍島待合所のトイレ改修や馬島中待合所の新設を行った。 さらに、前年度コロナ禍により中止した夏季増便を再開した。</p>	<p>A</p>	<p>B</p> <p>①ダイヤ改正 ダイヤ変更はほぼ定着した。今後は、島民を含め、島外からのダイヤ改正のニーズが高まれば、その都度検討する。 ②経費縮減 引き続き、経費の縮減に努めていきたい。 ③離島活性化 本土の親子連れを島に招き、島の子供たちと環境学習等を行うイベント「藍島Go！」を継続して実施し、島内外の交流を積極的に行う。 ④増客対策 コロナウイルス感染拡大による影響は大きく、利用者増は達成していないが、今後は、マイクロツーリズムの流れも活かし、臨時便や割引チケットにより、5月の連休や夏季休暇時での集客対応に力を入れた。 さらに、待合所の改修やSNS用パネル掲示などの集客対策を継続して行っていきたい。 ⑤船員の雇用対策 一部欠員となっている船員の雇用を積極的に行い、安定した運航を目指す。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染症対策を行いながら離島航路の運営を維持していること自体評価できます。 今後も市の観光部との連携をし、SNS等での情報発信を行いながら観光客誘致の取組に期待します。 今後も待合所の整備等による利便性向上や船員の確保など、引き続き安定した航路運営に期待します。</p>	
--------------------------------	-------------	--------------	---	----------	---	---	--

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路 確保維持協議会	有限会社 郵正丸 馬渡島～呼子航路	馬渡島～名護屋・ 呼子(本土)間を運 航	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本航路は、離島住民にとっ ては島外への通勤、通学、通 院、生活物資の購入等日々 の生活の安定の確保という 観点から、確実な計画運航 回数の達成を目標とした。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染 拡大を受け、マスクの着用や 消毒等、感染防止対策を行 い確実な運航を行ったが、観 光客等の利用者増加を図る 取組は実施できなかった。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市の離島振興部局と の連携により、島内でのイベ ント開催、島の魅力発信、釣 果情報の提供など利用客の 利便性を向上させ、旅客を増 やすための取り組みを検討 する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染 拡大がいつまで続くか分か らず、観光客等の利用者増加 を図るイベント事業と連携し た取組を実施できるか不 明である。</li> <li>・引き続き安定的な航路運 営に努め、計画運航回数の実 施、コスト削減を図る。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、 離島航路運営を維持していること自 体評価できます。</p> <p>例年、コスト削減等を目標としていた だいておりますので今後はイベント 事業等の連携に関する目標を設定 いただくなど、アフターコロナを見据 え観光客誘致の取組に期待いたし ます。</p>	
唐津市離島航路 確保維持協議会	有限会社 加唐島汽 船 加唐島～呼子航路	加唐島～呼子(本 土)間を運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本航路は、離島住民にとっ ては島外への通勤、通学、通 院、生活物資の購入等日々 の生活の安定の確保という 観点から、確実な計画運航 回数の達成を目標とした。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染 拡大を受け、マスクの着用や 消毒等、感染防止対策を行 い確実な運航を行ったが、観 光客等の利用者増加を図る 取組は実施できなかった。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市の離島振興部局と の連携により、島内でのイベ ント開催、島の魅力発信、釣 果情報の提供など利用客の 利便性を向上させ、旅客を増 やすための取り組みを検討 する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染 拡大がいつまで続くか分か らず、観光客等の利用者増加 を図るイベント事業と連携し た取組を実施できるか不 明である。</li> <li>・引き続き安定的な航路運 営に努め、計画運航回数の実 施、コスト削減を図る。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、 離島航路運営を維持していること自 体評価できます。</p> <p>例年、コスト削減等を目標としていた だいておりますので今後はイベント 事業等の連携に関する目標を設定 いただくなど、アフターコロナを見据 え観光客誘致の取組に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路 確保維持協議会	川口汽船 有限会社 小川島～呼子航路	小川島～呼子(本 土)間を運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本航路は、離島住民にとっ ては島外への通勤、通学、通 院、生活物資の購入等日々 の生活の安定の確保という 観点から、確実な計画運航 回数の達成を目標とした。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染 拡大を受け、マスクの着用や 消毒等、感染防止対策を行 い確実な運航を行ったが、観 光客等の利用者増加を図る 取組は実施できなかった。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市の離島振興部局と の連携により、島内でのイベ ント開催、島の魅力発信、釣 果情報の提供など利用客の 利便性を向上させ、旅客を増 やすための取り組みを検討 する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡 大がいつまで続くか分から ず、観光客等の利用者増加 を図るイベント事業と連携し た取組を実施できるか不 明である。</li> <li>・共通予備船の利用回数を 増やすことで燃料消費量の 削減を図るとともに、安定 的な航路運営に努める。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大の中、 離島航路運営を維持していること自 体評価できます。 例年、コスト削減等を目標とされて おりますので今後はイベント事業等 の連携に関する目標を設定いた だくなど、アフターコロナを見据え観光客 誘致の取組にも期待します。	
唐津市離島航路 確保維持協議会	唐津汽船 株式会社 神集島～湊航路	神集島～湊(本土) 間を運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本航路は、離島住民にとっ ては島外への通勤、通学、通 院、生活物資の購入等日々 の生活の安定の確保という 観点から、確実な計画運航 回数の達成を目標とした。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染 拡大を受け、マスクの着用や 消毒等、感染防止対策を行 い確実な運航を行ったが、観 光客等の利用者増加を図る 取組は実施できなかった。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市の離島振興部局と の連携により、島内でのイベ ント開催、島の魅力発信、釣 果情報の提供など利用客の 利便性を向上させ、旅客を増 やすための取り組みを検討 する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡 大がいつまで続くか分から ず、観光客等の利用者増加 を図るイベント事業と連携し た取組を実施できるか不 明である。</li> <li>・引き続き安定的な航路運営 に努め、計画運航回数の実 施、コスト削減を図る。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大の中、 離島航路運営を維持していること自 体評価できます。 例年、コスト削減等を目標としてい ただいておりますので今後はイベ ント事業等の連携に関する目標を設定 いただくなど、アフターコロナを見据 え観光客誘致の取組に期待いた します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	九州郵船(株)	博多～比田勝	コロナ渦の中、常に対馬島内の情報収集を行い、少しでも旅客・車両の利用増となるように努めた。	A	B	・年々島内人口が減少していく中で、大きな需要増は見込めないが、新造船うみてらしの快適性や利便性を更に訴求し、航路利用の動機づけにつなげて行く。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。計画どおり新造船を就航し、航路における就航率を向上させるなど、旅客の利便性の確保に努めたことも評価できます。今後も、利用増加に向け新造船の快適性や利便性の訴求に係る具体的な取組を推進されることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	崎戸商船(株)	友住～佐世保	離島航路改善計画実施により、令和元年6月11日新船就航に伴い、費用の削減に努めた。	A	A	・新型コロナウイルス感染防止対策を確実に継続すると共に江島・平島沖洋上風力発電事業の実現に向け自治体と協力して行く。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。機関等の小修理を船員にて行い経費の節減に努めたことも評価できます。今後、風力発電の事業が実現化されれば、輸送増も見込まれますので、自治体等との協力した取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	九州商船(株)	佐世保～上五島	世界遺産登録の効果を活用し、島外からの観光客誘致を図ったほか、日頃から船舶の点検等を行い安全運航と経費節減に努めた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響が収束した後に輸送量ができる限り元に戻せるよう、関係者と連携を図りながら営業活動に努める。</li> <li>・また、「フェリーなみじ」が船齢34年と老朽化しているため、代替船を建造・就航させることができるように時期を見極め計画を立てる。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。今後は、コロナ禍で落ち込んだ需要を取り戻すための取組が行われることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	野母商船(株)	福江～博多	経費面では、博多～宇久港間の下り便に於いて減速運航を継続して行うことで燃料費削減、その他経費に於いても削減に努めた。収入面では、積極的な営業活動を行い増収に努めた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費面では、博多～宇久港間の下り便に於いて減速運航を継続して行うことで燃料費削減に努め、その他経費に於いても削減に努めた。</li> <li>・収入面では、積極的な営業活動を行い増収に努める。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。今後は、営業活動等による利用増加に関する取組や、経費削減の取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	五島旅客船株	郷ノ首～福江	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替船の就航により、車両航送量を増加させることができた。</li> <li>日常メンテナンスを計画的に行った。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年課題となっている船員不足の状況改善のため、今後も継続して、船員の確保及び教育に取組む。</li> <li>アフターコロナを見据え、全体の収支改善に取り組む。</li> <li>高速船ニューたいようのエンジントラブルを未然に防ぐための日々のメンテナンスや点検を励行する。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できません。</p> <p>計画どおり代替船が就航したため、今後の諸経費の削減に向けた取組が行われることを期待します。</p>	
長崎県離島航路 対策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～柳	<p>運航率の安定を図った。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な点検整備を行い、機関調整による欠航を減らすことで安定的な就航率を図る。</li> <li>新型コロナウイルスの影響もあり目標値に達することが出来なかったが、今後、風力発電や、太陽光発電施設建設等寺島に関連する事業の進捗によっては、本航路の利用者数改善が望める。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できません。</p> <p>今後も、安全運航や機関点検による欠航回数の減少に向けた取組に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	津吉商船(株)	津吉～相浦～佐世 保	・コロナ禍において、観光誘致 が困難な中、運航を継続し、 自社船員で船舶の整備修繕 を行うことにより経費削減に 努めた。	A	A	・事業者単独での航路維持 は非常に困難であり、公的 支援が必要である。 ・佐世保コンベンション協会に働 きかけ佐世保地区へのPR 化を図り、広域観光ルートの構 築に取り組む。 ・イギリスからの「将軍ツアー」 と、平戸商工会議所主導に よる「南部地区活性化委員 会」にも積極的に参加し観光 誘致に努め、各種イベントに関 しても、出来る限りPRを行 い、運賃の増収に努める。 ・船舶修繕費については、船 員で整備修繕を行い、経費 削減に努める。	新型コロナウイルス感染拡 大の中、離島航路を維持し ていること自体評価できま す。 新型コロナウイルスにて、海 外向けの多くのイベント等観 光誘致が難しい中で、今後 は国内向けのイベント等にも 力を入れた取組に期待しま す。	
長崎県離島航路 対策協議会	西海沿岸商船(株)	佐世保～神浦	各自治体と協力し、広報・周 知を行い集客を図った。	A	B	新型コロナウイルス感染防 止対策を確実に継続すると 共に西海市及び長崎市(池 島)と連携し航路利用客の増 加に努める。	新型コロナウイルス感染拡 大の中、離島航路を維持し ていること自体評価できま す。 今後も、自治体との連携によ り、航路利用客の増加に向 けた取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	平戸市	平戸～大島	燃料費の安価な購入のため 毎月単価見積入札を実施し た。 離島住民割引を実施し、島 民の利便確保、負担軽減を 図った。	A	B	・燃料単価は昨年度に比較 して増加しているが、主機回 転数の抑制や毎月の単価見 積入札を継続し経費削減に 努める。また、ドック等にお いて、塗装、小修理等可能な 限り船員で行い経費削減に 努める。 ・安定的な運航を図るため、 船員の確保に努める。	新型コロナウイルス感染拡 大の中、離島航路を維持し ていること自体評価できま す。 今後も、経費節減に向けこ れまでの取組を継続し、ま た、更なる安定的な運航を図 るための取組に期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	対馬市	仁位～長板浦	・有人国境離島割引及び同 障害者割引により、地域住 民の利用促進を図った。 ・経費については、小修繕・ 船舶保守点検など可能な限 り船員で行った。主燃料(A 重油)の入札を年4回実施す るなど経費削減に努めた。	A	B	・本航路は主に病院受診の ための高齢者や障がい者が 利用しているが、人口減少 等による過疎化が進む中、 利用者は減少の一途をた どっている。しかしながら、個 人観光客の定期航路利用も 見受けられるため、地域住 民のみならず、観光客の利 用促進を図りたい。 ・また、船舶修繕について は、船員で整備や点検が可 能な場合は、船員で実施し 経費削減に努めたい。	新型コロナウイルス感染拡 大の中、離島航路を維持し ていること自体評価できま す。 今後も、人口減少等が予想 される中で、観光客を取り込 むための取組や経費節減に 向けた更なる取組に期待し ます。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	野母商船(株)	長崎～伊王島～高島	バック商品等を継続した。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。</li> <li>・令和元年12月1日に旧長崎汽船(株)を野母商船(株)に吸収合併し、経営効率の向上、合併による経費の削減を実施。今後も合併による経営安定化と航路収支の改善に努める。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も、バック商品等の継続、観光客を取り込むための取組や経費節減に向けた更なる取組に期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	鷹島汽船(有)	阿翁～御厨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全区間に離島住民運賃割引を実施した。観光客の誘致のために「まつら党交流公社」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めていたが、新型コロナウイルス感染症により中止となった。</li> <li>・燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。</li> <li>・修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する「航路改善計画」を作成した。それに伴い寄港地である飛島に週1回(基本水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、尿尿運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行う。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。また、経費節減に向け、主機関の回転数の調整及び船員の日々の保守点検を行っていることも評価できます。今後は、観光客を取り込むための他の取組等に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	鷹島汽船(有)	殿ノ浦～今福	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島住民運賃割引の実施及び寄港地である飛島へ島外からの釣り客利用者誘客に努めた。</li> <li>・燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。</li> <li>・修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度の「航路改善計画」に基づき、今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事としている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、経費節減に向け、主機関の回転数の調整及び船員による日々の保守点検を行っていることも評価できます。</p> <p>今後も、釣り客等の利用者を増加させるための取組に期待します。</p>	
長崎県離島航路 対策協議会	壱岐市	大島～郷ノ浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の拡大、校外学習によるフェリーの利用等、収入の維持、確保を図った。</li> <li>・経費については、消耗品の節減、燃料油費の毎月単価入札の実施、修繕費については、中間検査における一般競争入札の実施、船員による日頃からの船舶保守点検を徹底し、経費節減に努めた。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、引き続き島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口拡大を図り収入の増加・確保に努める。</li> <li>・また、経費についても、燃料油費について毎月単価入札を実施、中間検査の一般競争入札実施、消耗品費、修繕費等の経費節減を図り、本航路の実情にあった経営改善を継続的に図っていく。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、経費節減に向け、燃料の単価入札の実施及び船員による日々の保守点検を行っていることも評価できます。</p> <p>今後も人口減少等が予想される中で、観光客等の利用者を増加させるための取組に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	黒島旅客船(有)	黒島～高島～相浦	<p>・新型コロナ感染症により利用者数の増加が見込めない中、島内の公共工事等の情報収集をし、売上増加に努め、船舶では錆落としや自社修繕、定期点検等の実施、相見積りや交渉等を行い経費節減をした。</p>	A	B	<p>・利用動向が不透明な状況の中、引き続き車両の配乗計画等を工夫し、欠損増加の抑制に努める。 ・今後も引き続き、船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努める。また経費の精査を行い節減に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できません。 また、経費節減に向け、船員による日々の保守点検等を行っていることも評価できません。 今後、新型コロナウイルス感染拡大が収束した際は、落ち込んだ需要を取り戻すため、島内観光名所を活用した旅行プランを醸成するなど、関係機関と連携した取組を期待します。</p>	
長崎県離島航路 対策協議会	五島市(奈留)	奈留～前島	<p>・デマンド運航の定着及び利便性の向上を図り、離島航路の維持存続に努めた。</p>	A	A	<p>・デマンド運航の定着及び利便性の確保をしながら経費削減を図り、離島航路の維持存続に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できません。 需要に応じて運航するデマンド運航は費用を圧縮するメリットがあり、地域及び島民が一体となって航路を維持していくという意識の醸成に取り組まれることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	(有)木口汽船	久賀～福江～杵島	<p>・前回の結果を参考として更に改善できる点がないか検討した。旅客の増加を目標に観光パンフレットの送付やネット配信等観光客の誘致に力を注いだ。</p> <p>・費用面では燃料費、消耗品は見積もりを取り決定した。船舶の老朽化により修繕箇所が増えることは必至なので、日常のメンテナンスの実施を行うことはもとより、費用の大きい修理は時期を再度検討することとした。また部品をネット購入と数社の見積りで検討し、まとめ買い割引等も利用することとした。</p>	A	A	<p>・久賀島、杵島とも人口減は続いていくものと思われるが、コロナが収束することになれば、国境離島新法運賃低廉化の効果により、島民の利用は比較的安定すると思われるので島民の利便を確保しつつ運営していきたい。</p> <p>・コロナ禍であっても感染予防に努めながら、久賀島の世界遺産登録後、増加傾向にあった観光客や帰省客が安心して利用できるよう、行政や観光協会等と一体となり、観光面でのPRや航路情報、島情報の発信を進め、観光客の獲得にも力を注ぎたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。また、経費節減のためさまざまな取組を行っていることも評価できます。今後も、島民の利便性を確保しつつ、観光客の増加に向け、関係機関と一体となって取り組まれることを期待します。</p>	
長崎県離島航路 対策協議会	(有)黄島海運	黄島～福江	<p>・日頃から経費の削減に努め安定的な航路運営を図った。</p> <p>・燃料費の安価購入のため、毎月単価購入契約を実施した。</p>	A	B	<p>・離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者の目線で事業運営に努めていきたい。令和4年4月(予定)新船の就航により、寄港地の見直しによる経費削減、運賃適正化による収支拡大に努める</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。今後、新船の就航により利用者の利便性の向上、寄港地の見直し、運賃適正化による収支改善が予定されていますので、計画に沿って適切に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	五島市(富江)	富江～黒島	・病院等の利用が多く見込まれる火曜日(1日1往復)以外については事前予約による海上タクシーを利用したデマンド運航とすることが承認された。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年9月30日をもって市営交通船(富江～黒島航路)が廃止し、当該年度で事業完了となる。</li> <li>令和3年10月1日以降は市単独の財源で黒島居住者が利用した海上タクシー料金の負担軽減を図るため、予算の定めるところにより、黒島居住者に対し黒島居住者海上タクシー利用料金負担軽減補助金を交付する。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。需要に応じて運航するデマンド運航は費用を圧縮するメリットがあり、地域及び島民が一体となって航路を維持していくという意識の醸成に取り組まれることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	竹山運輸(有)	度島～平戸	営業収入の鷹島航路の代船が10月にくい込んだ為に減収となった。	A	A	令和5年3月を就航目標として代替船建造を進めていく。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。今後使用船の代替船建造を進めていく上で、利用者の利便性の向上、就航後の経費節減が図られることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	・町の観光窓口である「おぢかアイランドツーリズム協会」と連絡を密にし「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産登録された野崎島を訪れる観光客の利用や修学旅行生や民泊利用者など、町営船の利用促進への対策を行った。	A	B	・効率的な運航や増収策など、意見を聞きながら取り組んでいく。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後、新型コロナウイルス感染拡大が収束した際は、野崎島活用による修学旅行生や民泊利用者等交流人口の増加に向け積極的にPR活動等を推進されることを期待します。 一方で、平成30年野崎島集落世界文化遺産登録後実施している増便の費用対効果の検証も必要と考えます。	
長崎県離島航路 対策協議会	小値賀町	柳～納島	・島の特産品である落花生収穫体験の研修等、団体客の利用促進を図った。	A	A	・観光事業と連携した取り組み及び地域おこし協力隊を活用し情報発信、移住促進を行い利用客増加を図る。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後は、地域と連携し観光客増加に向けた取組や移住促進に向けた取組を期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	嵯峨島旅客船(有)	嵯峨島～貝津	・使用船舶が建造から経過してきて修繕箇所が増えてきたため、計画的に予定を立てて行っていくことにした。	A	A	・新型コロナウイルスが拡大するなかで感染者を出さず、これまでと変わらず運航できた。 ・イベントなどが徐々に開催されるようになってきたので五島市や観光協会とも連携して利用促進を図っていきたい。 ・また、費用の面でもこれまでと変わらず見積比較して抑えていきたい。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。今後は、地域と連携し観光客増加に向けた取組や、経費節減の取組を期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長崎航路 対策協議会	苓北観光汽船(株)	天草～長崎航路	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活航路として安定的な運航を確保するために、保守点検及び適切な維持管理を徹底すると共に、代替船によるバックアップ体制を充実させ、前年からの就航率の維持向上を目標に設定した。</li> <li>天草地域の観光・イベント情報のPRを「みなとオアシス富岡協議会」と協力して行い、航路利用促進に取り組んだ。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>富岡港からの二次アクセスとして、民間企業が一般レンタカー事業を行っており、航路利用者の利便性向上に役立っていることから、引き続きレンタカー事業者と連携をとっていく。</li> <li>Paypay、AirPay等の電子決済導入による利便性の向上維持、並びに電子決済の利用拡大に向けた周知を行うことで、航路利用者の確保を図る。</li> <li>引き続きSNS等による、天草地域の観光・イベント情報の発信を行い、観光客等の航路利用者の確保を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、離島航路を維持していること自体評価できます。</li> <li>レンタカー事業者との連携により、二次アクセスに関する利便性向上を図り、収益にもつなげているところが評価できます。</li> <li>「みなとオアシス富岡協議会」と連携し、観光需要の取り込みに努めていることが評価できます。</li> <li>今後は、費用削減に関する目標も掲げることで収支改善に取り組まれることを期待します。</li> </ul>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
姫島～国見航路 運営協議会	姫島村	姫島～国見	<p>○前回評価結果 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、例年開催している「おさかな祭り」や「姫島盆踊り」等のイベントを中止せざるを得ない中で「がんばろう姫島割引キャンペーン」を行い、交流人口の増加に努めたことは評価する。 今後も島内外からの観光客促進を進めて交流人口の増大への取り組みに期待する。 航路改善計画の内容を踏まえて、目標の見直しを検討。→昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、各種イベントの中止やツアーのキャンセル等に 伴い交流人口は大幅に減少した。 協議会委員には、村の企画振興課長や商工会会長、区長会会長を任命しており、協力して観光振興や航路の利用促進等の取組を行っている。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、現実的な目標を設定した。</p>	A	B	<p>○新型コロナウイルス感染症の収束後は、日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進めて交流人口の増大を図る。 ○船舶については常時点検を行うことで機械的に良好な調子を保ち、大規模な修繕の発生を回避する。 ○昨年度策定した航路改善計画に基づく取組の進捗状況の把握や取組効果の検証を行う。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価します。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、各種イベントの中止やツアーのキャンセル等に伴い交流人口は大幅に減少したものの、公共工事の増加による自動車航送運賃の増加、施設修繕費や光熱水費等運航経費の節減の徹底などにより、欠損額増加の抑制や安定的な航路運営に努めている点は評価します。 新型コロナウイルス感染症の収束後は、日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進めて交流人口の増大につながることを期待します。</p>	
大島～佐伯航路 運営協議会	佐伯市	大島～佐伯	<p>○前回評価結果 「今後も人口減少や高齢化の傾向が予想される一方、当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、SNSなどを活用した島情報の発信や島内イベント等の観光利用促進に取り組みを進めていくことを期待する」→今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴いイベント等は行えていないが、協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会会長、大島地区自治会会長を任命しており、協力して移住や観光、利用促進等の取組を行っている。</p>	A	B	<p>○新型コロナウイルス感染症収束後は、関係機関と連携して情報発信を行うとともに、活性化方策として島内イベント等を開催し、需要の喚起を図る。 ○就航から約10年経過となるため、船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避することで修繕費の削減を図る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価します。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い交流人口が減少したため、目標の旅客輸送人数7,900人が未達となったものの、船舶消耗品や光熱水費等の節減を図り、安定的な航路運営に努めていることは評価します。 新型コロナウイルス感染症収束後は、関係機関と連携して情報発信を行うとともに、活性化方策として島内イベント等を開催し、需要の喚起を図ることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日  
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
蒲江～深島航路 運営協議会	蒲江交通有限会社	蒲江～深島	<p>○前回評価結果 「島民によるマリンアクティビティやゲストハウス等の運営、HPやSNSによる情報発信等を市や関係機関と連携して行っている点は評価できる。次年度計画では構造改革事業(調査事業)を実施する予定とすることから、航路の収支改善に向けた航路改善計画の策定に向けて、不断の取り組みを進められることを期待する」→昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により交流人口は減少しているものの、島民によるマリンアクティビティやゲストハウス等の運営やHP、SNSによる情報発信等を市や関係機関と連携して行っており、島の活性化や航路の利用促進につながっている。</p> <p>また、協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会理事、屋形島・深島区長を任命しており、協力して利用促進等の取組を行っている。</p> <p>今年度は構造改革事業(調査事業)を実施し、航路改善計画の策定に向け取り組んでいる。</p>	A	A	<p>○今後も人口の減少が見込まれており、島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながら引き続きホームページ等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。</p> <p>○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を図る。</p> <p>○今年度中に策定する航路改善計画において検討する運営改善の取組を行う。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価します。</p> <p>昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により交流人口は減少しているものの、島民によるマリンアクティビティやゲストハウス等の運営やHP、SNSによる情報発信等を市や関係機関と連携して行っており、島の活性化や航路の利用促進につながっていることは評価できます。</p> <p>今後も人口の減少が見込まれており、島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながら引き続きホームページ等で情報発信を行い、来訪客の増加を図ることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日  
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見～保戸島 航路運営協議会	有限会社やま丸	津久見～保戸島	<p>○前回評価結果 「ホームページやSNSを活用した情報発信、地域と連携した誘客促進の取り組みを積極的に 行っていることは評価できる。 また、島民・市・市観光協会・県による「保戸島わくわく会議」を開催していることは、意見交換に最適な場であり今後は是非とも続けていただきたい。 今後作成される航路改善計画の内容も踏まえ、取支改善のための取組みに期待する。」 →今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い「保戸島わくわく会議」等のイベントも開催されず、貸切客等も減少し、観光客誘客に向けた取り組みが実施できなかった。 昨年度に引き続き、安心して航路を利用してもらえるよう市が設置したサーモグラフィによる 検温や船内消毒の徹底など、利用拡大に向けた感染拡大防止対策に取り組んでいる。 また、協議会委員には、市の経営政策課長や津久見市商工会議所会頭、保戸島区長会会長を任命しており、協力して移住や利用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○新型コロナウイルス感染症の収束後は、観光部署と連携して観光ツアーの取組を強化し、来訪者の利用拡大を図る。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図る。 ○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。 ○昨年度策定した航路改善計画に基づき、運航便数の適正化等の検討を行う。 ○現運航事業者の撤退に伴い、令和4年10月からは津久見市が事業主体となり航路を引き継ぐ予定となっており、安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行う。</p>	<p>コロナ禍において、地元自治体の支援を受けて、感染拡大防止対策を講じながらも離島航路を維持していること自体評価します。 今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い「保戸島わくわく会議」等のイベントも開催されず、貸切客等も減少し、観光客誘客に向けた取り組みが実施できなかったものの、安心して航路を利用してもらえるよう市が設置したサーモグラフィによる検温や船内消毒の徹底など、利用拡大に向けた感染拡大防止対策に取り組んでいる点は評価します。 現運航事業者の撤退に伴い、令和4年10月から津久見市が航路を引き継いだ後も、安定的な航路運営に向けて収支改善のための取組を実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市離島航路 確保維持改善協 議会	日豊汽船株式会社	島浦～浦城	離島航路を維持するため、 利用客の増加に向けた取組 みとして、区、漁協、有識者 等で構成された「島業推進 協議会」において、島野浦島 の活性化に関する施策の一 つであるビジネスプランや地 域おこし協力隊等について の協議、検討等を行った。 また、航路利用者の利便性 向上に繋げるため、「運航発 信ツール(LINE公式アカ ウント)の活用」や「経路検 索時に航路時間の提供(GTFS データにした航路情報の提 供)」等の取組みを行った。	B	B	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため、航路利用 者には、マスク着用や手指 消毒の徹底といった予防対 策を講じる。また、新型コ ロナウイルスの終息を見据 えた上で、利用客の増加を 図るため、関係機関や、島 業推進協議会、地域住民等 と連携した取り組みを引き 続き進めていく。 併せて、離島航路構造改革 補助事業(調査事業)を活 用して策定した航路改善計 画に沿って、フェリーのリ プレイスを見据えながら、 将来にわたって安心、安全 な航路を確保、維持するた め、利用者が少ない便の減 便やダイヤの変更を協議し ていく。なお、本航路は島 民にとっての唯一の定期航 路であることから、島民へ 説明を行い、理解を求めな がら実施していく。	コロナ禍において、感染 拡大防止対策を講じなが らも離島航路を維持して いること自体評価できま す。 航路利用者の利便性向上 に繋げるため、「運航発信 ツール(LINE公式アカ ウント)の活用」や「経路 検索時に航路時間の提供 (GTFSデータにした航 路情報の提供)」等の取組 を行っていることは評価 します。 離島航路構造改革補助事 業(調査事業)を活用して 策定した航路改善計画に 沿って、フェリーのリプ レイスを見据えながら、 将来にわたって安心・安 全な航路を確保・維持す るため、利用者が少ない 便の減便やダイヤの変 更を協議し、引き続き収 支改善のための取組を 実施されることを期待 します。	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～三島～ 枕崎航路対策協議会	三島村	鹿児島～三島～枕崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>増便等による利便性の向上により、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した利用促進に取り込むことで、輸送量の維持・確保に努めた。</li> <li>平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、輸送量確保のため、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した、利用促進に努める。</li> <li>本航路は、住民の利便性向上のため、平成28年10月より、便数利便性改善支援制度を活用して、週3便から週4便へ増便したところであり、今後、運航日程・発着時刻に関する住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航路の利用促進に努める。</li> <li>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</li> </ul>	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。天候不良及びコロナウイルス感染症の影響に伴う観光客・団体客等の減少等に伴い運航収入が減少しているが、感染症収束後の、地域間の交流や各種イベント等の取り組みによる需要拡大に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～十島～ 名瀬航路対策協 議会	十島村	鹿児島～十島～名 瀬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。</li> <li>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月より、運航ダイヤの見直しを行っており、今後もこれに基づき航海時間の短縮による旅客等の利便性及び定時性の向上に努める。</li> <li>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減及び安定的な航路運営に努める。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、感染防止対策を徹底し、旅客の利用促進に努める。</li> </ul>	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。また、利用者の利便性を確保するため、天候回復後のスケジュール見直しや臨時便等の運航を行う等、利便増進に努めたことは評価できません。</p> <p>感染症収束後は、フェリーとしま2を利用したツアーの拡大等による島内外の航路利用促進の取り組みによる利用促進に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串木野・川内～ 甑島航路対策協議 会	甑島商船株式会社	串木野・川内～ 甑島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甑島への入込観光客の誘客促進を図るため、甑大橋開通を記念した旅行代理店向けの旅行商品割引を実施した。</li> <li>・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した滞在型観光促進事業及びGotoトラベルキャンペーンに注力し、薩摩川内市及び薩摩川内市観光物産協会等と連携し、個人向けの旅行商品を造成し営業展開を図り、甑島への入込観光客の誘客促進等を図った。</li> <li>・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。</li> <li>・引き続き「旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に沿った感染予防策の実施に努める。</li> <li>・甑島の人口は減少傾向にあるが、令和2年8月の甑大橋の完成により甑島の観光振興は加速しており、引き続き、特定有人国境離島法の滞在型観光促進事業、GOTOトラベル事業などを活用しながら、地元自治体・観光関係事業者と連携し、島外からの交流人口の増加を図る。</li> </ul>	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながらも離島航路を維持していること自体評価します。また、新型コロナウイルス感染症により利用者減が予想される中、甑大橋の開通及び「Gotoトラベルキャンペーン」の実施等により、前年度比で収入が増加したことは評価します。引き続き観光需要拡大に向けた取組みに期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～喜界～ 知名航路対策協 議会	奄美海運株式会社	鹿児島～喜界～知 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き奄美群島振興交付金による運賃軽減事業の活用とコロナ禍で停滞する利用者に対して船旅の魅力のPR(SNS等)・オリジナルマスク・クリアファイル配布などを行い利用促進や広報活動の強化に努めた。</li> <li>・燃料油価格の高騰に対する燃料価格調整金の適切な設定を行い、運航収入の確保に務めた。</li> <li>・利用者の利便性を確保するため、天候回復後のスケジュール見直しや地域の要望に対応した臨時便等の運航を行い、航路収支の改善に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の少子高齢化・過疎化による人口減少の進行・農畜産業を中心とした基幹産業の縮小などに加え、コロナウイルスの影響による利用者の減少と物流の低迷が推測され今後も当航路を取り巻く環境は厳しい。しかし、奄美群島振興交付金による運賃割引制度を有効に活用し、また、奄美大島、徳之島の世界自然遺産登録による島外利用者の確保に向けた関係機関との連携強化や広報活動などを積極的に行い、航路の利用促進や活性化に努める。</li> <li>・世界情勢の影響が大きい燃料価格は、今後も不安定な動向が懸念され大幅な増加が見込まれる。グループ企業との共同購入やエンジン回転を押さえたい効率的な運航により負担を軽減し、一方、運賃へ上乗せする燃料油価格変動調整金を適切に収受し、収支の改善に努める。</li> <li>・今後も安全対策の徹底と新型コロナウイルス感染防止を適切に行い、離島住民へ必要不可欠な交通手段として安定した定期運航に努める。</li> <li>・地域から要望があるイベント・スポーツ大会等に対応した運航体制の見直しや多客期、繁忙期の臨時便など関係市町村と連携して検討し、利便性と収益の確保に努める。</li> </ul>	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。また、利用者の利便性を確保するため、天候回復後のスケジュール見直しや地域の要望に対応した臨時便等の運航を行い、利便増進に努めたことは評価できます。上昇する燃料油価格について、適切に運賃に反映されており、今後も市場価格を注視し適切な航路運営が行われることを期待します。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮之浦～口永良部・島間航路対策協議会	屋久島町	宮之浦～口永良部・島間	<p>・口永良部島での火山災害からの復興は、ほぼ噴火前の状態に戻りつつあり、令和3年7月5日に火山警戒レベルが「3」から「2」に引き下げられたこともあり、公共工事にかかる車両の輸送量は増加した。貨物については昨年度と比較し増加したが、目標達成には至らなかった。旅客については、コロナ禍の影響で団体ツアー等が減少したことにより、大幅に減少した。島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めた。</p> <p>・平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで利用促進を図った。</p>	A	B	<p>・人口の減少及びコロナ禍の影響等により輸送量の確保が難しい状況であるが、口永良部島での公共工事等による輸送量の増加も見込んでおり、これに加え、旅行代理店等の関係機関との連携のもと、交流人口の増加に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。感染症収束後は、造船「フェリー太陽Ⅱ」の就航効果や予定されている公共工事等による収入の増加に期待します。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
与路～古仁屋航 路対策協議会	瀬戸内町	与路～古仁屋	・イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。	A	B	・目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも離島航路を維持していること自体評価します。今後は、島民の利便性確保や利用促進のため、自治体の施策と連携した需要の拡大に向けた取り組みに期待します。	
瀬相～古仁屋～ 生間航路対策協 議会	瀬戸内町	瀬相～古仁屋～生 間	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底している。 ・平成29年4月より実施している加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を引き続き実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。	A	B	・加計呂麻島住民を対象とした離島住民割引を継続して実施し、島民の利便性確保、負担軽減に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、安定的な航路運営に努める。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも離島航路を維持していること自体評価できる。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、世界自然遺産登録に伴い、車両航送収入が増加した点は評価できます。今後は、加計呂麻島の離島振興策との連携により利用拡大を図るとともに、必要不可欠な生活航路として維持するための取り組みに期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長島航路 対策協議会	天長フェリー株式 会社	天草～長島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、特に長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、目標の輸送量確保及び航路利用の促進に努めたが、コロナ禍でイベントの中止等があり十分な促進ができなかった。</li> <li>・長島町が獅子島住民の利用促進の一環として実施している自動車運賃を一部助成する制度(平成22年7月～)を活用し、自動車輸送量の確保に努めている。</li> <li>・平成30年10月より獅子島住民を対象とした離島住民運賃割引を実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図っている。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持、確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。</li> <li>・引き続き「旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に沿った感染予防策の実施に努める。</li> <li>・天草～長島航路の利用促進、特に獅子島への化石見学、グルメ利用等への利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、地域間交流事業など島外からの交流人口の利用促進を図り、輸送量の維持に努める。</li> <li>・平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや代替船(省エネ効率化船)の導入による経費削減等効率的な航路運営に努める。</li> </ul>	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。感染拡大防止対策を講じながらも地方自治体と連携した車輛航送運賃助成制度により、コロナ渦においても自動車輸送量増を達成していることは評価できます。今後は、代替船の建造も予定されており、平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく効率的な航路運営に期待します。</p>	